

第Ⅱ部 里山景観についての調査結果

（イチゴを用いた地区の魅力再発見）

2019年度 里山景観等調査研究成果報告 ーいちごプロジェクトー

筑波大学建築・地域計画研究室
齊藤啓誠・須藤ゆき・山根知
田中昂太郎・福山夏映・孫晨陽
山本幸子
クリエイター 山崎かのこ

これまでの取組み

2018年

- ①看板デザインの実施
- ②販売小屋の施工開始

2017年

- ①修景ガイドライン策定に向けた提言
- ②看板デザインの提案

2016年

- ①八郷地区・いちご農家の知名度向上
- ②看板・販売小屋のデザイン・機能の提案

2019年度の研究課題

3年間の研究を通して得られた課題

1. いちご等のフルーツが豊富だが、認知度が低く、活用が十分でない
2. いちご等の果樹の若い担い手や後継者が不足している

2019年度研究目的

八郷の担い手の育成・確保を大きな目標に、

- ・ 八郷・フルーツライン周辺地区の魅力を伝える手段として、いちごを活用する方法を検討（景観を活かしたまちづくり）
- ・ 八郷の子どもたちを対象としたWSを開催し、八郷のいちごやフルーツライン周辺のことを学びながら、住んでいる町の魅力を再発見するとともにまちづくりの楽しさに触れてもらう

4月 中村いちご園訪問



- 今年度の目標や活動内容を中村さんと相談・いちご狩り体験
→収穫期間終了後、いちご畑を耕す際、まだ食べられるいちごがあるがそのままつぶしてしまっているので、活用できることが分かる
- 5/27にいちごを収穫、大学に持ち帰り冷凍保存



小桜小学校と小幡小学校の 子供たちといちごを使ったWSを企画



8月 WSの内容検討



9月 小学校訪問・企画説明



小桜小学校での様子

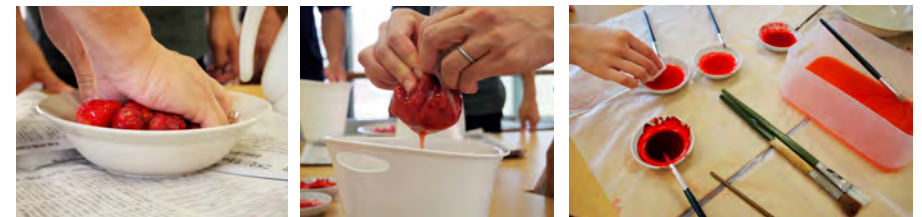


小幡小学校での様子

- 2つの企画を提案
- いちごの葉書づくりに決定
- 対象学年は1・2年生
- 「ふるさと学習」の時間に授業を行う
- 給食もいっしょに食べる

甘いいちごの香りを届ける葉書づくり

①いちごを自分の手で絞って、いちご絵の具をつくる



②牛乳パックを再利用して作った紙で作られたいちご型の
葉書に、いちご絵の具で色づけしていく



やさとはくだものがたくさんとれる まち 



9

でも... たべてもらえない

こどもたちに
よろこんで
もらいたい...

もったいないいちごたち



10

いちごさんは、あまいがおりと
きれいな あかいろがすてきだね

つくばの
おにいさん
おねえさん



もったいないいちご

11

あまいがおりのえのぐになたら
よろこんでもらえるかな!! 



12



10月16日 小桜小学校
1年生 15人 2年生16人



14



15



16



17



18



11月21日 小幡小学校
1年生14人 2年生14人



20



21

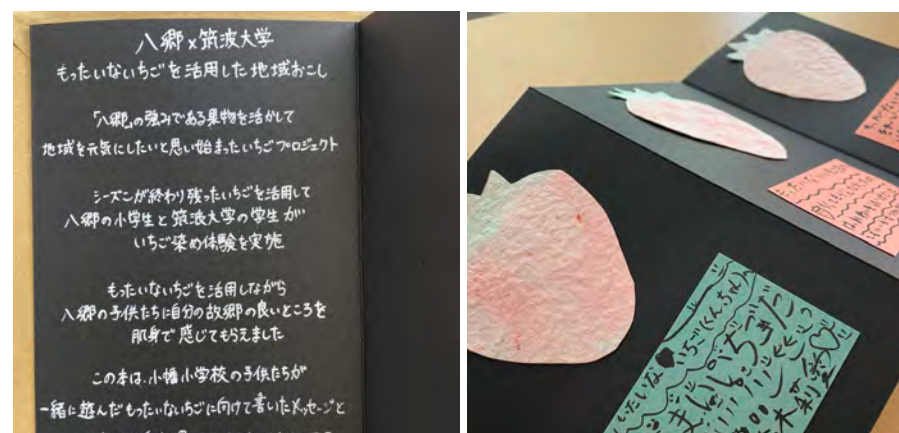


22



23

2月 いちごの本完成・展示



小幡・小桜小学校の授業参観日に展示してもらう
 今後は中村いちご園他、市内外で展示予定
 →いちご・八郷をPRする本として活用

9月 いちごスムージー試飲会



- いちごの活用方法としていちごスムージーを考案
- ゲストハウスjiccaの野外上映会で提供
- 「見た目が可愛い」「いちごの味が濃くておいしい」と好評



1月 新規就農者ヒアリング

➤ 若手新規就農者「安藤さん」



“フルーツラインを活性化させたい”という想いの一致



安藤さんの「想い」

八郷を訪れた人に里山景観や自然、農業に触れることの楽しさを知ってもらいたい



坂入さんの「想い」

安藤さんのような若手就農者を中心として、フルーツライン沿いならではの魅力を活かし地域として活性化して欲しい

2019年度のまとめ

研究成果

1. 八郷・フルーツライン周辺地区の魅力を伝える手段として、いちごを活用した子ども向けWSを企画・実現した
2. いちごの本・スムージーの制作・提供により、地域内外にいちごの地域であること・魅力を発信できた

課題

- いちご農家の方々と連携したWSの企画を考える
- 他のフルーツへの展開
- 販売小屋や看板建て替えの意欲向上へつなげる